

RS-BT62

Bluetooth RS-232C 変換アダプター

(SPP Profile ベーシックモデル)

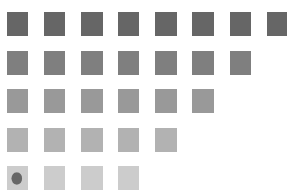
ユーザーズマニュアル

2023 年 11 月

第 2.0 版



ラトックシステム株式会社



第1章 はじめに	
(1-1) 製品仕様	1- 1
(1-2) 添付品	1- 2
(1-3) DIP スイッチ/リセットスイッチについて	1- 3
(1-4) コネクタピンアサインについて	1- 4
(1-5) LED について	1- 5
(1-6) 本製品への電源供給と外部電源出力について	1- 6
(1-7) 初期化手順について	1- 6
第2章 導入手順とペアリングについて	
(2-1) 本製品の導入手順	2- 1
(2-2) Windows 11 の場合	2- 2
(2-3) Windows 10 の場合	2- 7
第3章 Windows 設定・通信サンプルアプリケーションについて	
(3-1) Windows 設定・通信サンプルアプリケーション概要	3- 2
(3-2) デバイスステータスの設定	3- 3
第4章 電波強度測定ツールについて	
(4-1) 電波強度測定ツールについて	4- 1
第5章 Androidでのペアリングの確認と設定	5- 1
第6章 Android サンプルアプリケーションについて	
(6-1) Android サンプルアプリケーションのインストール	6- 1
(6-2) Android サンプルアプリケーションの操作方法	6- 3
(6-3) デバイスステータスの設定	6- 4
第7章 Appendix	
(7-1) HID モードの設定方法(Windows)	7- 1
(7-2) HID モードの設定方法(Android)	7- 4



安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

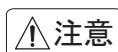
表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



警告

- 製品の分解や改造などは、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油などの液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。



注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカなどの磁気を帯びた物の近くで保管しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないように、十分注意して作業を行ってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益などが発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

その他のご注意

- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、TM、®マークは明記しておりません。

電波に関する注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

（連絡先）ラトックシステム サポートセンター

TEL 06-7670-5064

<https://www.ratocsystems.com/mail/support.html>

2.4FH1



<現品表示内容の意味>

2.4 … 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

FH … 変調方式が周波数ホッピングであることを表す。

1 … 想定される与干渉距離が 10m 以内であることを表す。



… 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

第1章 はじめに

RS-BT62は、RS-232C インターフェイスを備えたシリアル通信装置に接続するアダプターで、Bluetooth ホスト機能を持った WindowsPC、Android 端末から Bluetooth 経由でシリアル通信装置と通信をすることができます。

また、製品本体の DIP スイッチ設定を変更(5番を ON)することにより、シリアル通信装置から入力されたデータを Bluetooth 経由でキーボードイベントとして受信する HID モードで利用することができます。(RS-BT62HID と同等) 設定方法については「第7章 Appendix」をご参照ください。

(1-1) 製品仕様

ハードウェア仕様

項目	仕様内容	
インターフェイス	RS-232C	EIA/TIA-232-F Standards準拠
	Bluetooth	Bluetooth version 4.2BR/EDR
RS-232C トランシーバー	MaxLinear SP3232ECY(または同等品)	
Bluetooth プロファイル	SPP (製品本体の DIP スイッチ 5番を ON の場合は HID)	
Bluetooth 送信周波数	2,402-2,480MHz FHSS/GFSK 79 チャンネル-1MHz 間隔	
RS-232C 接続コネクタ	D-Sub9Pin(オス)×1	
RS-232C 入出力レベル	【ドライバー】 ハイレベル出力：+5V(min)/+5.4V(TYP) ローレベル出力：-5V(min)/-5.4V(TYP)	
	【レシーバー】 入力電圧範囲：-15V(min.) ~ +15V(max.)	
RS-232C 通信方式	非同期通信	
RS-232C データビット	7/8	
RS-232C パリティビット	None/Even/Odd	
RS-232C ストップビット	1/2	
RS-232C フロー制御	CTS/RTS	
RS-232C 通信速度	1200/2400/4800/9600/19200/28800/38400/ 57600/115200/230400 bps	
Bluetooth 伝送距離	Class2 (10m 程度)	
外形寸法	約 73.8(L)×35(W)×16(T) [mm](突起部を除く)	

重量	約 33g(本体のみ)
電源電圧	DC +5V
消費電流	約 210mA(送受信時：外部電源供給分を含まない)
動作環境	温度：0～55℃ 湿度：20～80%(ただし結露しないこと)
TELEC	本製品には、技術基準適合証明を受けた特定無線設備 (工事設計認証番号: 217-204070) が収納されています。

ソフトウェア仕様

項 目	仕 様 内 容
Windows 用 COM ポート版 設定・通信サンプルアプリケーション (ダウンロード提供)	仮想 COM ポートを使用したサンプルプログラムで、 通信パラメーター/デバイス名/認証方式 の設定とデータの送受信を行う。
Windows 用 WinSock 版 設定・通信サンプルアプリケーション (ダウンロード提供)	WindowsSocketAPI を使用したサンプル プログラムで、 通信パラメーター/デバイス名/認証方式 の設定とデータの送受信を行う。
Android 用 設定・通信サンプルアプリケーション (ダウンロード提供)	Java で開発されたサンプルプログラム で、 通信パラメーター/デバイス名の設定と データの送受信を行う。
対応 OS	Windows 11 / 10 (64-bit 対応) Android10 以降 Raspberry Pi OS

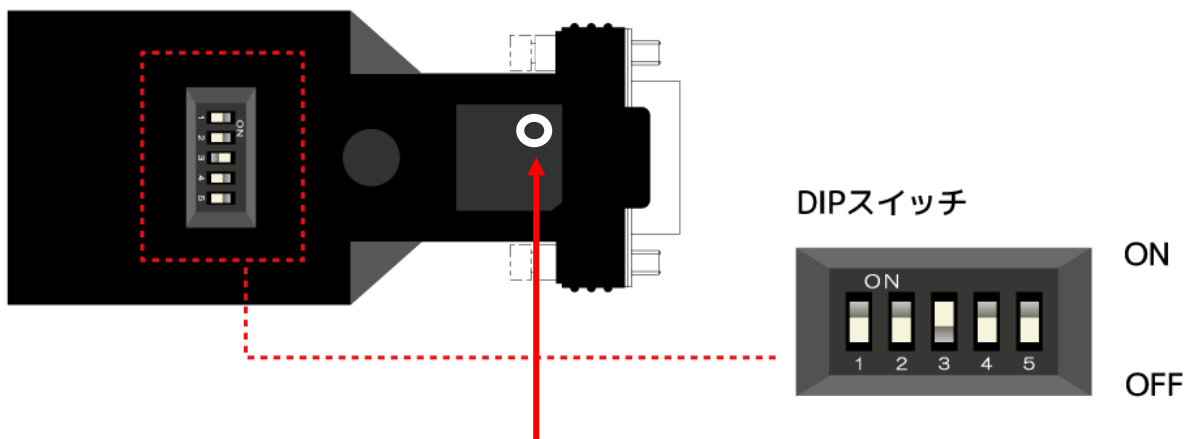
(1-2) 添付品

ご使用前に下記添付品が添付されているかをご確認願います。


- RS-BT62 本体
- 電源アダプター
- 補足文書(RS-BT62 マニュアル・各種ツールのダウンロードについて)
- 保証書

(1-3) DIP スイッチ/リセットスイッチについて

DIP スイッチ・リセットスイッチの各機能について説明します。



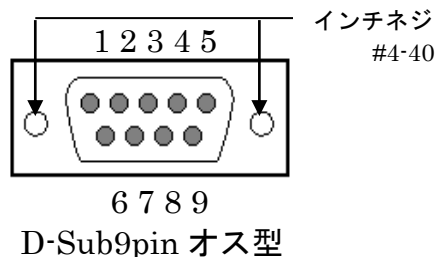
リセットスイッチ
 (電源の再投入または初期化時に使用。
 先の細いもので押します。)

番号	動作	出荷時設定
1	未使用	OFF
2	ON の場合はシリアル通信速度を 9600bps に固定	OFF
3	ON の場合は RTS/CTS フロー制御が有効	ON
4	 電源アダプターを接続し、ON にした場合は D-Sub9 番ピンから 5V 出力する。 「(1-6) 本製品への電源供給と外部電源出力について」を参照。 ※ 本製品の D-Sub9 番ピンへ接続デバイスから電源供給する場合は、DIP4 番を OFF にしてください。	OFF
5	Bluetooth SPP/HID モードの切り替え ON : HID モード OFF : SPP モード	OFF

※DIP スイッチ[2][3][5]を変更した場合は、リセットスイッチを押して電源の再投入が必要です。

(1-4) コネクタピンアサインについて

各信号のコネクタピンアサイン及び機能は下表のようになります。
 コネクタは EIA/TIA-574 仕様で定められている D-Sub9pin を採用しました。

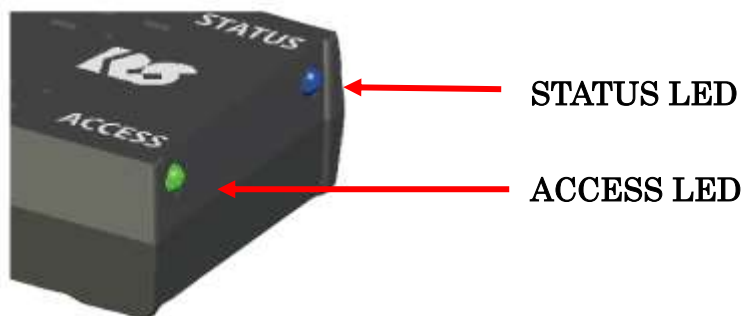


ピン番	信号名	説明
1	NC	未接続
2	RxD	データ受信
3	TxD	データ送信
4	NC	未接続
5	GND	グラウンド
6	NC	未接続
7	RTS	データ送信要求
8	CTS	データ送信可能
9	DC5V~12V IN 5V OUT	入力は DC5V から 12V 出力は 5V 専用

- ※ DCD/DTR/DSR/RI の機能は使用できません。
- ※ 9 番ピンについては「(1-3) DIP スイッチ/リセットスイッチについて」を参照。

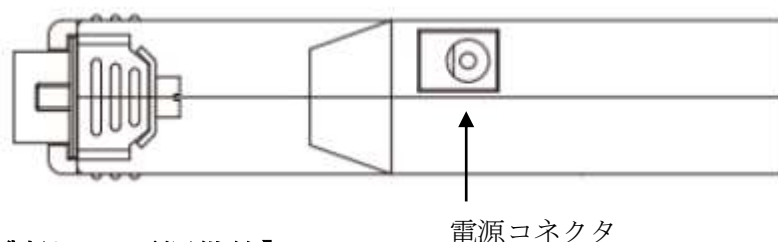
(1-5) LED について

本製品に搭載されている LED について説明します。



LED	動作	発光色		
STATUS	Bluetooth のステータスを表示 点灯：シリアル接続中(COM/デバイスオープン)	青色		
	点滅： <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 秒に 2 回点滅</td> <td>シリアル未接続状態 (電源投入後)</td> </tr> <tr> <td>1 秒に 5 回点滅</td> <td>本製品への設定変更中</td> </tr> </table>		1 秒に 2 回点滅	シリアル未接続状態 (電源投入後)
1 秒に 2 回点滅	シリアル未接続状態 (電源投入後)			
1 秒に 5 回点滅	本製品への設定変更中			
ACCESS	RS-232C 通信状態を表示 点灯：RS-232C のデータ送受信時に点灯	緑色		

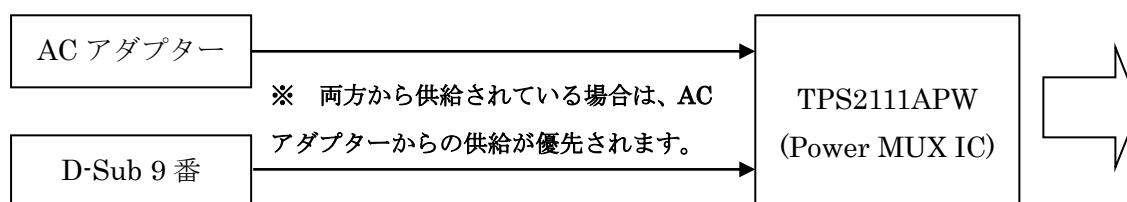
(1-6) 本製品への電源供給と外部電源出力について



【本製品への電源供給】

本製品への電源供給は、製品付属の電源アダプター (DC5V) を接続する方法と接続デバイスから電源供給する方法があります。

電源アダプターを使用せず接続デバイスから電源供給する場合は、接続デバイスから D-Sub の 9 番ピンへ 5V~12V 給電することで使用可能となります。

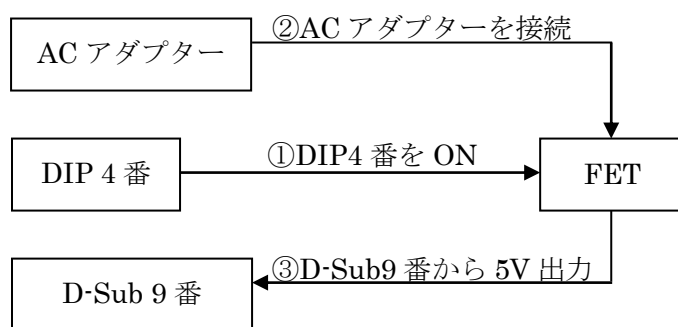


※ D-Sub9 番ピンへ外部から電源供給する場合は、DIP4 番を OFF にしてください。

【外部への電源出力】

DIP4 番を ON にすると、D-Sub9 番ピンから 5V 出力することができます。
(DC5V/300mA 程度の供給が可能)

※ DIP4 番を ON にしてから電源アダプターを接続してください。



(1-7) 初期化手順について

本製品を工場出荷時の設定に初期化する場合は、本製品に電源を入れた状態でリセットスイッチ(*)を 5 秒以上押します。

STATUS LED(青色)が消灯してから点滅(1秒に 5 回点灯)になると初期化完了です。
(検出されるデバイス名は初期化されません)

* 「(1-3) DIP スイッチ/リセットスイッチについて」を参照。

第2章 導入手順とペアリングについて

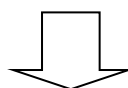
(2-1) 本製品の導入手順

本製品を使用する前に、使用端末(WindowsPC または Android 端末)が Bluetooth デバイスと通信可能であることを確認し、以下の手順に従って準備を行います。

1. 本製品へ電源を入れる。
2. Bluetooth ホスト端末とペアリングを行う。
3. 設定・通信サンプルアプリケーションを使用し通信プロパティの設定を行う。
4. 機器と接続し通信する。

1. 本製品へ電源を入れる。

製品付属の AC アダプターを接続し電源を供給します。または、デバイス側から D-Sub 9 番ピンへ給電します。

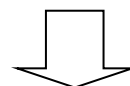
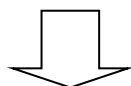


2. Bluetooth ホスト端末とペアリングを行う。

(Windows の場合)

(Android の場合)

各 OS での説明(次頁以降)をご参照ください。「第5章 Android でのペアリングの確認と設定」をご参照ください。



3. 設定・通信サンプルアプリケーションを使用し通信プロパティの設定を行う。

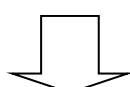
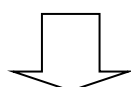
※ ボーレート/データビット/パリティ/ストップビットの設定を行います。
また、出荷時の DIP スイッチ設定(3 番)では RTS/CTS フロー制御が有効
となっています。

(Windows の場合)

(Android の場合)

「第3章 Windows 設定・通信サンプルアプリケーションについて」をご参照ください。

「第6章 Android サンプルアプリケーションについて」をご参照ください。




4. 機器と接続し通信する。

(2-2) Windows 11 の場合

本マニュアルでの説明は OS 標準機能を使用したペアリング方法となります。
USB-Bluetooth ホストアダプターに付属のツールや、PC にインストールされている Bluetooth 用ツールを使用する場合は、それらに付属のマニュアルをご参照ください。

Windows スタートメニューの[設定]
をクリックします。

 ボタンをクリックし
[Bluetooth とデバイス]を選択
します。

[デバイスの追加]をクリックします。


[Bluetooth]をクリックします。



デバイスを追加する

デバイスを追加する

追加するデバイスの種類を選択してください。

 Bluetooth
マウス、キーボード、ペン、オーディオデバイス、コントローラーなど

本製品(BT62-xxxx)を選択します。
(xxxx は 12 桁の Bluetooth アドレス
の下 4 桁)

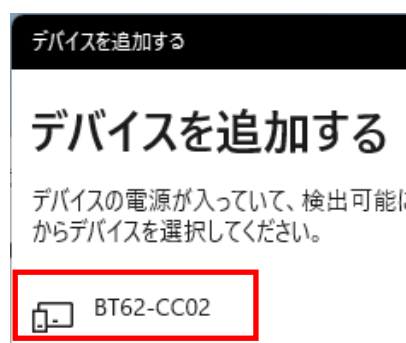
本製品が検出されない場合

Page.2-6 「※Windows11 で
検出できない場合の確認項目」
をご参照ください。

6 桁の PIN コードが表示されますので「接続」をクリックします。
(ペアリング時の認証方式を変更した場合は、変更した方法でペアリングを行ってください)

以上でペアリングは完了です。

次に割り当てられた COM ポート
番号の確認を行います。



[ペアリング済み]となっていることを確認し
[その他のデバイスを表示]をクリックします。



[その他の Bluetooth 設定]をクリックします。

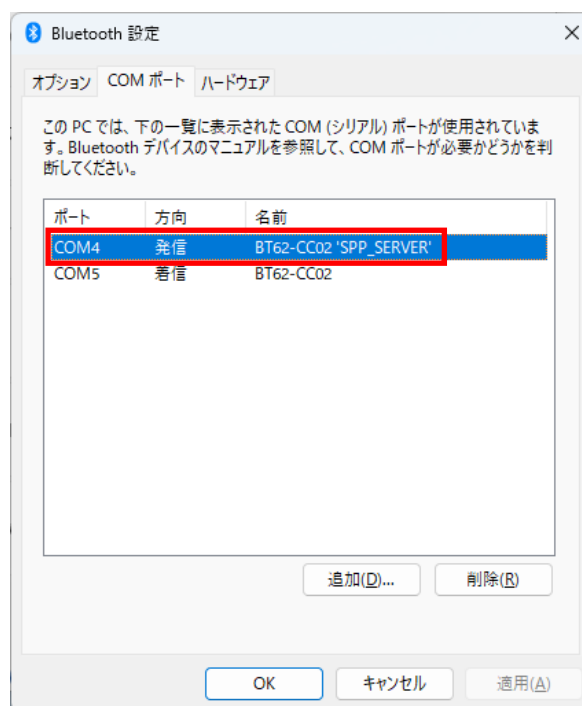


[COMポート]タブを選択すると、割り当てられたCOMポート番号を確認することができます。

※ 使用するCOMポート番号は右図の場合は発信のCOM4となります。

ペアリング完了後は

「第3章 Windows 設定・通信サンプルアプリケーションについて」をご参照の上、本製品の通信プロパティを設定してください。



ペアリングを解除する場合は、**...** をクリックし「デバイスの削除」を選択します。



※ Windows11 で検出できない場合の確認項目

Windows スタートメニューの[設定]-[Bluetooth とデバイス]より「その他のデバイスを表示」をクリックします。



画面を下へスクロールし[デバイスの設定]-[Bluetooth デバイスの検出]が「規定」になっている場合は「詳細」に変更することで、全ての種類の Bluetooth デバイスが表示されます。



(2-3) Windows 10 の場合

本マニュアルでの説明は OS 標準機能を使用したペアリング方法となります。USB-Bluetooth ホストアダプターに付属のツールや、PC にインストールされている Bluetooth 用ツールを使用する場合は、それらに付属のマニュアルをご参照ください。

Windows スタートメニューの[設定]をクリックします。



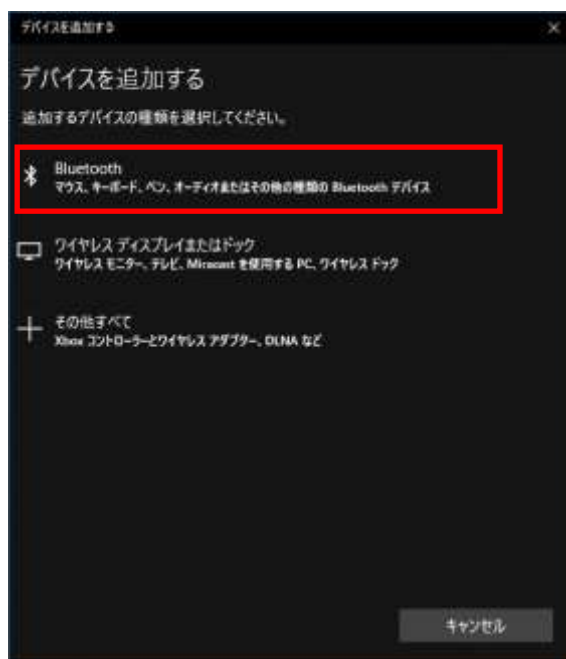
[デバイス]をクリックします。



[Bluetooth とその他のデバイス]をクリックしてから、
[Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]の[+]をクリックします。



[Bluetooth]を選択します。



本製品(BT62-xxxx)を選択すると6桁のPINコードが表示されますので「接続」をクリックします。(xxxx は12桁のBluetoothアドレスの下4桁)
(ペアリング時の認証方式を変更した場合は、変更した方法でペアリングを行ってください)



以上でペアリングは完了です。



次に割り当てられたCOMポート番号の確認を行います。

[ペアリング済み]となっていることを確認し

[その他の Bluetooth オプション]をクリックします。

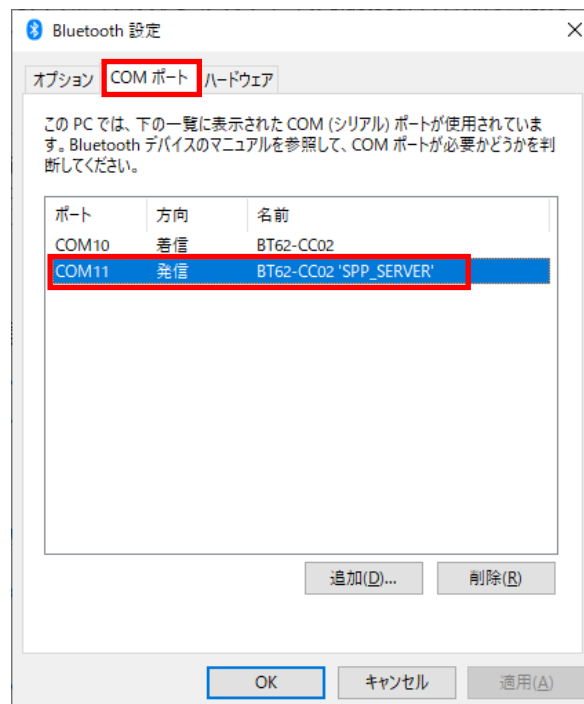
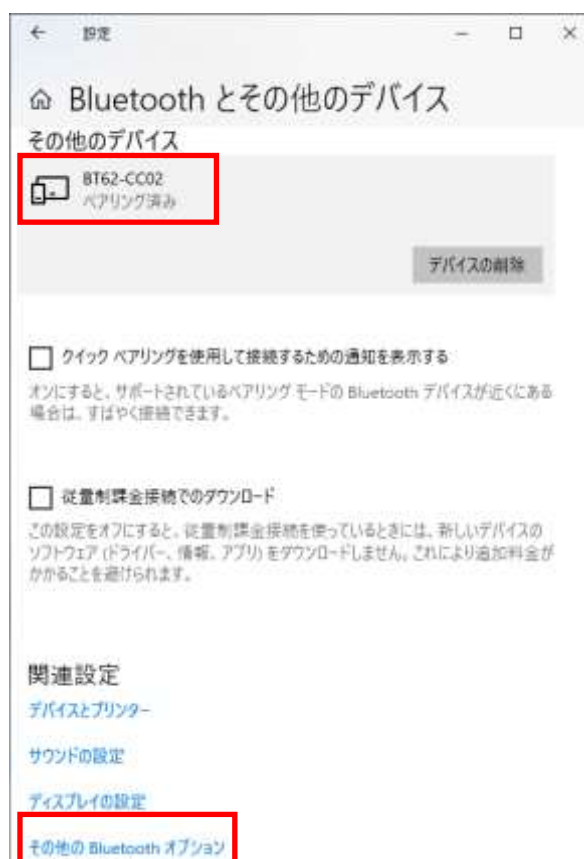
(ペアリングを解除する場合は、「デバイスの削除」を選択します)

Bluetooth 設定画面で[COM ポート]タブを選択すると、割り当てられた COM ポート番号を確認することができます。

※ 使用する COM ポート番号は右図の場合は発信の COM11 となります。

ペアリングが完了後は

「第3章 Windows 設定・通信サンプルアプリケーションについて」をご参照の上、本製品の通信プロパティを設定してください。



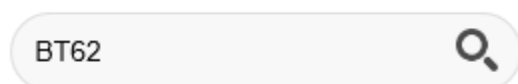
第3章 Windows設定・通信サンプルアプリケーションについて

本製品を使用する前にホームページより COM ポート版サンプル(COM ポートを制御するアプリケーション)、または WinSocket 版サンプル(WindowsSocketAPI を使用したアプリケーション)をダウンロードし、本製品の通信プロパティを設定する必要があります。

● Windows 設定・通信サンプルアプリケーションのダウンロード

ホームページ右上の検索欄に「BT62」と入力し検索します。

<https://www.ratocsystems.com/>



下記製品情報へのリンクをクリックします。

[www.ratocsystems.com > products > rs-bt62](http://www.ratocsystems.com/products/rs-bt62)





[Bluetooth RS-232C 変換アダプター \(SPP Profile ベーシックモデル ...\)](#)

表示された製品情報ページの「ダウンロード」をクリックします。



「RS-BT62 シリーズ 設定・通信サンプルアプリケーション (Windows 用)」をダウンロードします。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍すると、以下のフォルダー構成となります。

 BT62SettingSamp_com	COM ポート版サンプルソースコード
 BT62SettingSamp_soc	WinSocket 版サンプルソースコード
 BT62SettingSamp_com.exe	COM ポート版サンプル実行ファイル
 BT62SettingSamp_soc.exe	WinSocket 版サンプル実行ファイル

※ COM ポート版サンプルでは COM ポートを使用して制御し、WinSocket 版サンプルではソケットプログラムを使用して制御しますが、同じ機能となりますので設定変更する場合は「COM ポート版サンプル実行ファイル」をご利用ください。

(3-1) Windows 設定・通信サンプルアプリケーション概要

COM ポート版サンプル(BT62SettingSamp_com.exe)では、本製品に割り当てられた COM ポートを選択、WinSocket 版サンプル(BT62SettingSamp_soc.exe)では、本製品に割り当てられたデバイス名を選択します。

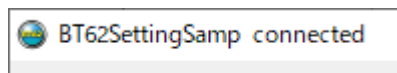


【COM ポート版】



【WinSocket 版】

「接続」をクリックしポートがオープン状態になると、画面左上に「connected」と表示されます。



【デバイスステータス】には、本製品に設定されている通信パラメーター/ペアリング時の認証方式/ファームウェアバージョン/デバイス名が表示され、通信可能状態となります。

【送信データ】にデータを入力し「送信」をクリックすると、入力されたデータが送信されます。

【受信データ】には受信したデータが表示され、「受信クリア」ボタンで受信表示をクリアします。

また、「設定」ボタンで本製品に設定される【デバイスステータス】の値を変更することができます。(「(3-2) デバイスステータスの設定」を参照)

(3-2) デバイスステータスの設定

通信設定サンプルでは以下の手順にて、本製品の通信パラメーター/ペアリング時の認証方式/デバイス名を変更することができます。

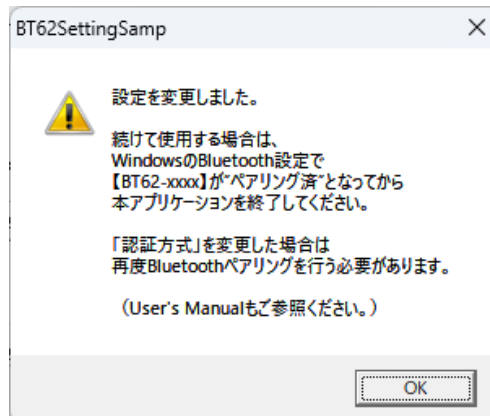
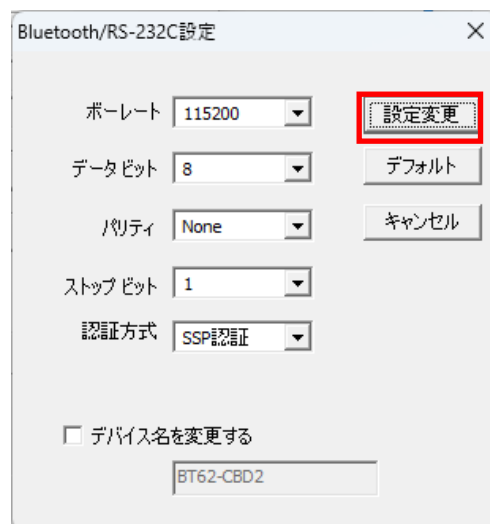
COM ポート版または WinSocket 版サンプルの「設定」をクリックすると、本製品に設定されている設定値が表示されます。

(右画面で表示されている値は工場出荷時設定です。「デフォルト」ボタンで工場出荷時に設定されます。デバイス名は固有の値で出荷されております。)

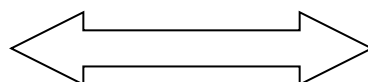
設定値を変更し「設定変更」をクリックします。(「認証方式」については次ページを参照してください)

製品本体が自動的に再起動し設定値が本製品へ反映されます。

※ 続けて使用する場合は、Windows の Bluetooth デバイスの表示(第2章 参照)で「ペアリング済み」となっていることを確認してから、本アプリケーションを終了してください。



■ Windows 上での表示



通信設定アプリで通信中は「接続済み」と表示されます。通信設定アプリを終了しないでください。

通信設定アプリを終了させる時は「ペアリング済み」と表示されていることを確認してから終了してください。

■ Bluetooth ペアリング時の認証方式の変更

本アプリケーションを使用して、Bluetooth ペアリング時の認証方式を変更することができます。

認証方式は3種類の設定が可能です。

・ SSP

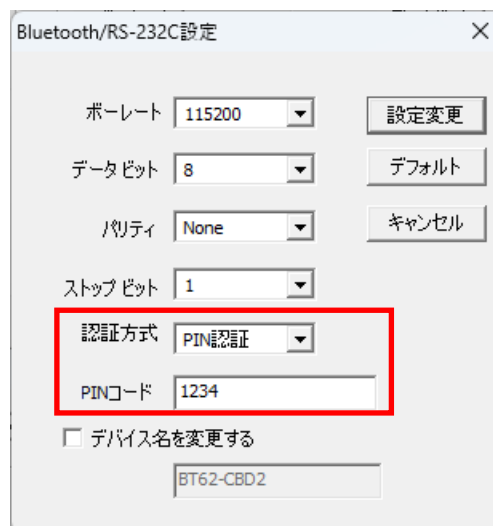
工場出荷時設定。(Simple Secure Pairing)
6桁のコードが自動表示されます。

・ PIN 認証

PIN コード入力が必要です。
(1～16桁まで)
※HID モード時、iOS/Android には未対応
です。

・ 認証なし

認証なしでペアリングします。



※ 認証方式を変更した場合は、現在のペアリングを削除してから再度ペアリングしてください。

第4章 電波強度測定ツールについて

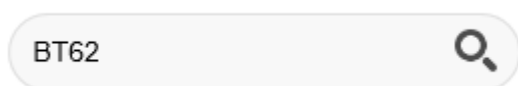
(4-1) 電波強度測定ツールについて

RS-BT62 電波強度測定ツールでは、WindowsPC と RS-BT62 間の Bluetooth 電波強度を測定することができます。

● 電波強度測定ツールのダウンロード

ホームページ右上の検索欄に「BT62」と入力し検索します。

<https://www.ratocsystems.com/>



下記製品情報へのリンクをクリックします。

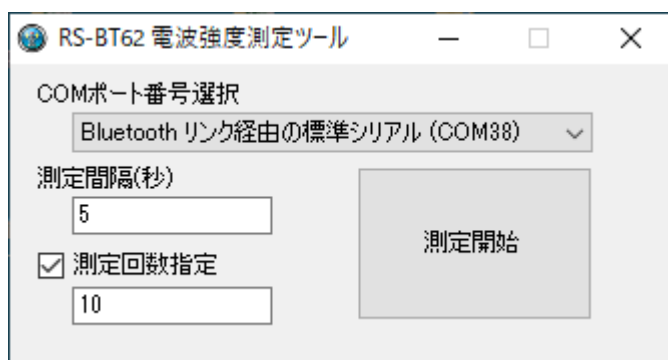
[www.ratocsystems.com > products > rs-bt62](https://www.ratocsystems.com/products/rs-bt62)

[Bluetooth RS-232C 変換アダプター \(SPP Profile ベーシックモデル ...\)](#)

表示された製品情報ページの「ダウンロード」をクリックします。



「RS-BT62 電波強度測定ツール for Windows」をダウンロードします。



【起動画面】

COMポート番号選択

RS-BT62 に割り当てられた COM ポート番号を選択します。

測定間隔(秒)

電波強度を測定する時間間隔を指定します。 5 秒以上の間隔を空けて測定することを推奨します。

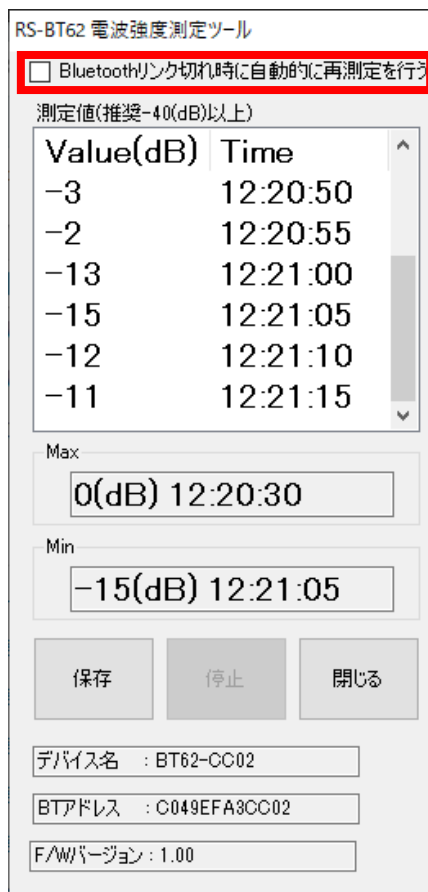
測定回数指定

チェックを入れた場合、指定回数測定すると自動的に測定を終了します。

チェックを外した場合、測定画面上の「停止」ボタンをクリックするまで測定し続けます。10 回以上測定することを推奨します。

測定開始

測定開始ボタンをクリックすると電波強度測定が開始されます。



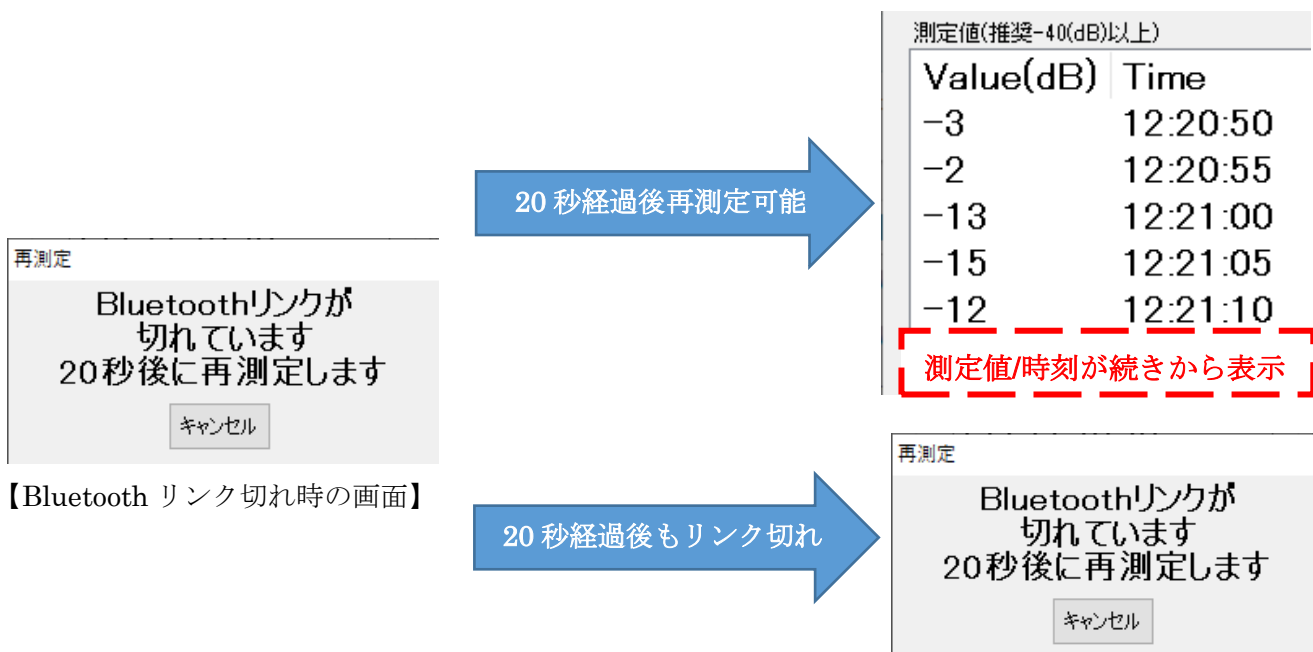
【測定画面】

Bluetooth リンク切れ時に自動的に再測定を行う

【チェックを入れた場合】

Bluetooth の電波が途切れた場合 20 秒経過すると自動的に再測定を行い、測定済みデータの続きから測定値/時刻が表示されます。

再測定時に Bluetooth リンクが確立できない場合は、再度 20 秒後に自動的に再測定が行われます。再測定を停止する場合は「キャンセル」をクリックします。



【Bluetooth リンク切れ時の画面】

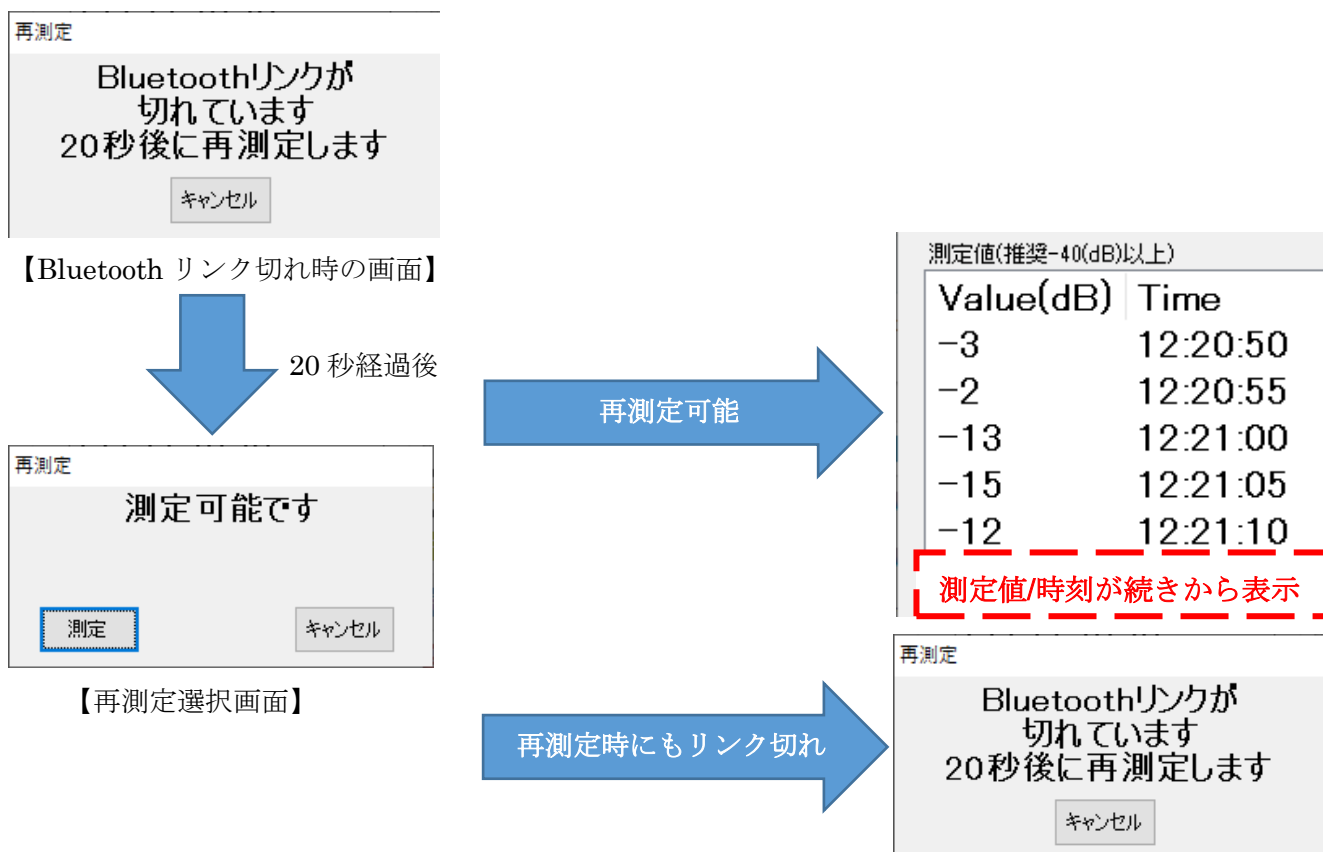
【チェックを外した場合】

Bluetooth の電波が途切れた場合 20 秒経過すると、再測定選択の画面が表示されます。

「測定」をクリックし再測定可能な場合は、測定済みデータの続きから測定値/時刻が表示されます。

再測定時に Bluetooth リンクが確立できない場合は、再度 Bluetooth リンク切れ時の画面が表示され

20 秒後に下記画面が再測定選択の画面が表示されます。



RS-BT62 電波強度測定ツール

Bluetoothリンク切れ時に自動的に再測定を行う

測定値(推奨-40(dB)以上)

Value(dB)	Time
-3	12:20:50
-2	12:20:55
-13	12:21:00
-15	12:21:05
-12	12:21:10
-11	12:21:15

Max
0(dB) 12:20:30

Min
-15(dB) 12:21:05

保存 停止 閉じる

デバイス名 : BT62-CC02

BTアドレス : C049EFA3CC02

F/Wバージョン : 1.00

【測定画面】

測定値

Value(dB) -- 測定データの電波強度で、最大値は 0(dB)。

Time -- 測定した時間。

Max -- 測定開始からの最大値。

Min -- 測定開始からの最小値。

※ -40 以上を推奨としていますが、運用環境によって適正值が異なります。

保存

測定データを CSV ファイルに保存します。

	A	B	C
1	0	12:20:30	
2	-1	12:20:35	
3	-2	12:20:40	
4	-2	12:20:45	
5	-3	12:20:50	
6	デバイス名 : BT62-CC02		
7	BTアドレス : C049EFA3CC02		
8	F/Wバージョン : 1.00		

停止

測定を停止します。

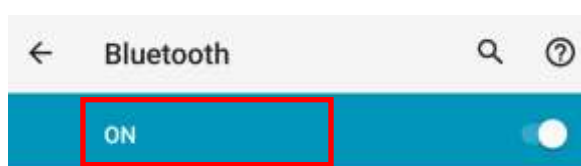
第5章 Androidでのペアリングの確認と設定

本製品を使用する前に、本製品を通信対象としてペアリングする必要があります。本製品に電源を入れ、以下の手順にてペアリングを行ってください。

※RS-BT62 のデバイス名は工場出荷時、「BT62-xxxx」に設定されています。

※ペアリング時の画面は使用端末によって異なりますので、Bluetooth デバイスの追加手順について各使用端末の説明をご参照ください。

Android の[設定]を起動し、
[Bluetooth]の項目がオンになっていることを確認します。



オフになっている場合は、右端の
スイッチを左から右スライドさせて、
Bluetooth をオンにします。



次に、[新しいデバイスとペア設定
する]をタップして、
[使用可能なデバイス]の一覧から
「BT62-xxxx」を探します。



[使用可能なデバイス]の一覧にあ
る「BT62-xxxx」をタップします。



[BT62-xxxx をペアに設定しますか?]と表示されます。

Bluetooth ペア設定コードが自動的に表示されるので、確認して[ペア設定する]を押すとペアリングが開始されます。

(ペアリング時の認証方式を変更した場合は、変更した方法でペアリングを行ってください)

ペアリングが設定されると、[接続済みのデバイス]の以前接続したデバイスのリストにデバイス名「BT62-xxxx」が表示されます。



ペアリングが完了後は「第6章 Android サンプルアプリケーションについて」をご参照の上、本製品の通信プロパティを設定してください。

第6章 Androidサンプルアプリケーションについて

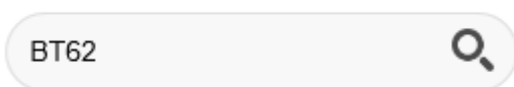
本製品の通信プロパティを設定するための Android サンプルアプリケーションをホームページにて提供しています。

ここでは、インストールと操作方法についてのみ説明します。

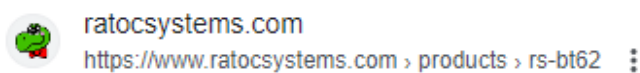
● サンプルアプリケーションのダウンロード

ホームページ右上の検索欄に「BT62」と入力し検索します。

<https://www.ratocsystems.com/>



下記製品情報へのリンクをクリックします。



Bluetooth RS-232C 変換アダプター (SPP Profile ベーシック ...)



表示された製品情報ページの「ダウンロード」をクリックします。



「【Android 端末用 BtSerialUtility】」をダウンロードします。

(6-1) Android サンプルアプリケーションのインストール

サンプルアプリケーション(BtSerialUtility.apk)の Android 端末へのインストールは、Google Play から行います。

1. Google Play を起動し、「BtSerialUtility」を入力します。

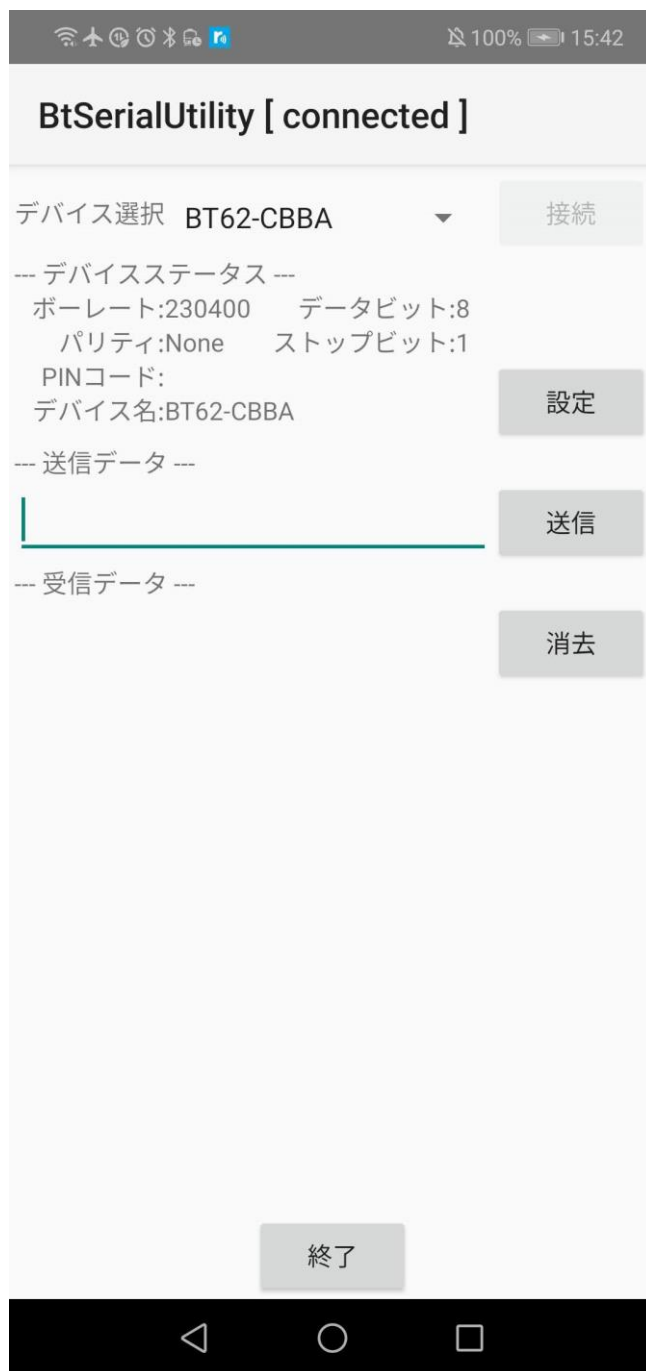
2. 検索結果から右画面の「BtSerialUtility」を選択し、インストールします。

3. インストールが完了し、アプリケーションを起動すると右の画面が表示されます。



(6-2) Android サンプルアプリケーションの操作方法

1. デバイス選択に表示されている名前が対象とする本製品のデバイス名と異なる場合、表示されている名前をタップして一覧から本製品のデバイス名を選択します。
2. 「接続」ボタンをタップするとタイトルバーの「not connected」が「connected」に変わり、通信可能となります。
「送信データ」欄にデータを入力し、「送信」ボタンをタップすると、入力されたデータが送信されます。
「受信データ」欄には受信されたデータが逐次表示されます。



(6-3) デバイスステータスの設定

メイン画面の「設定」をタップして、RS-232Cのパラメーター変更およびデバイス名変更の設定を行います。

「設定」をタップすると右の設定画面が表示されます。

表示された設定画面で各パラメーター値を変更し、最後に「設定変更」をタップします。

「設定変更」をタップすると右のダイアログが表示されます。

RS-BT62 本体のリセットスイッチ(*)を押してください。

リセット後、青色LEDが毎秒2回点滅しますので、ダイアログ画面の「OK」をタップします。

*「(1-3)DIP スイッチ/リセットスイッチについて」を参照

※リセットボタンが押されるまで、設定内容は反映されません。

BtSerialUtility

ボーレート: 1200 ▼ 設定変更

データビット: 8 ▼ デフォルト

パリティ: None ▼ キャンセル

ストップビット: 1 ▼

デバイス名を変更する

BT62-CBBA

BtSerialUtility

デバイスへ設定情報を書込みました。デバイスをリセットして再接続する必要があります。

デバイスへ電源を再投入するためにリセットスイッチを押してください。LEDが一秒間に2回点滅していることを確認できたらOKをクリックしてください。

OK

第7章 Appendix

本章では、その他の設定方法や追加内容について説明します。

(7-1) HID モードの設定方法(Windows)

本製品の DIP スイッチ設定を変更することにより、HID モードとして利用することができます。(RS-BT62HID と同等)

以下の手順に従って通信パラメーター設定/HID モード設定/ペアリングを行います。

1. 「第2章 導入手順とペアリングについて」「第3章 Windows 設定・通信サンプルアプリケーションについて」にて本製品の RS-232C 通信パラメーターを設定
2. 本製品から AC アダプターを取り外してから DIP スイッチ 5 番を OFF にし、本製品に AC アダプターを接続
3. 現在のペアリングを削除し、再度ペアリングを行う(以下の手順をご参照ください)

■ Windows11 での現在のペアリングの削除と再ペアリング

Windows スタートメニューの[設定]をクリックします。



☰ ボタンをクリックし

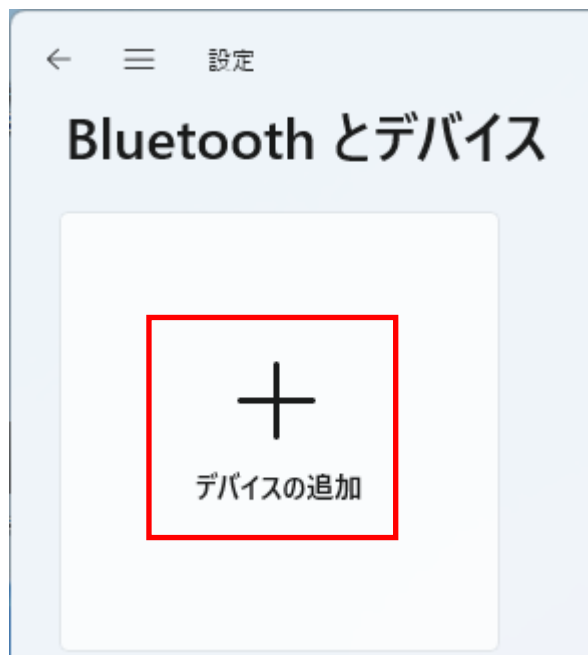
[Bluetooth とデバイス]を選択します。



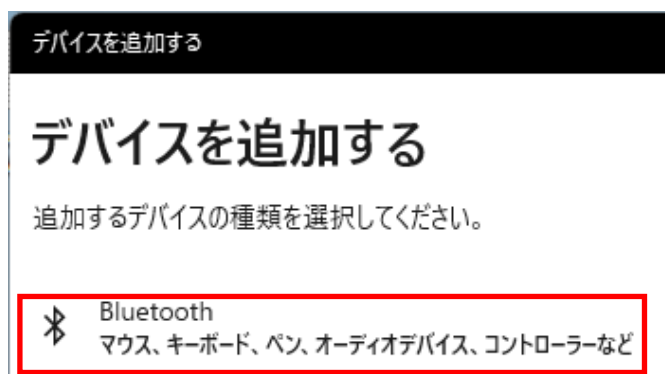
⋮ をクリックし「デバイスの削除」を選択します。



[デバイスの追加]をクリックします。



[Bluetooth]をクリックします。

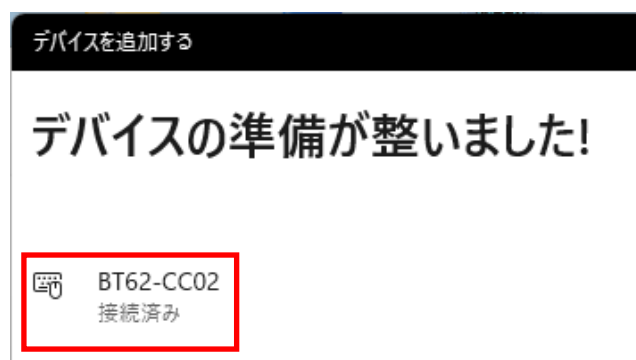


[BT62-xxxx]を選択し、設定した認証方式でペアリングを行います。

(HID モードの場合はキーボードとマウスのアイコンになります)



以上でペアリングは完了です。



■ Windows10 での現在のペアリングの削除と再ペアリング

Windows スタートメニューの[設定]をクリックします。



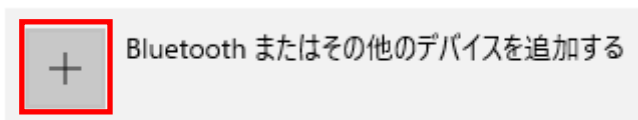
[デバイス]をクリックします。



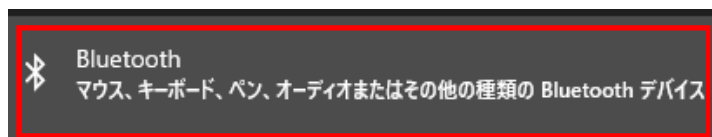
「デバイスの削除」をクリックし現在のペアリングを削除します。



[Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]の[+]をクリックします。



[Bluetooth]を選択します。

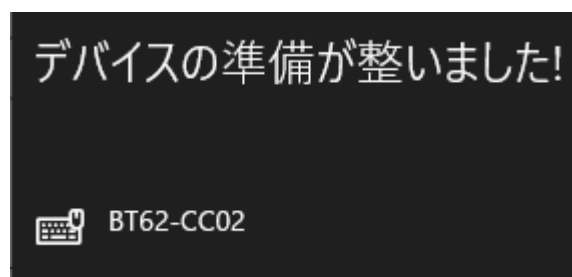


[BT62-xxxx]を選択し、設定した認証方式でペアリングします。

(HID モードの場合はキーボードとマウスのアイコンになります)



以上でペアリングは完了です。



(7-2) HID モードの設定方法(Android)

本製品の DIP スイッチ設定を変更することにより、HID モードとして利用することができます。(RS-BT62HID と同等)

以下の手順に従って通信パラメーター設定/HID モード設定/ペアリングを行います。

1. 「第5章 Android でのペアリングの確認と設定」
「第6章 Android サンプルアプリケーションについて」にて本製品の RS-232C 通信パラメーターを設定
2. 本製品から AC アダプターを取り外してから DIP スイッチ 5 番を ON (HID モード) にし、本製品に AC アダプターを接続
3. 現在のペアリングを削除し、再度ペアリングを行う(以下の手順をご参照ください)

Android の[設定]を起動し、「接続済みのデバイス」を開くと、「以前接続したデバイス」の一覧から「BT62-xxxx」を探します。

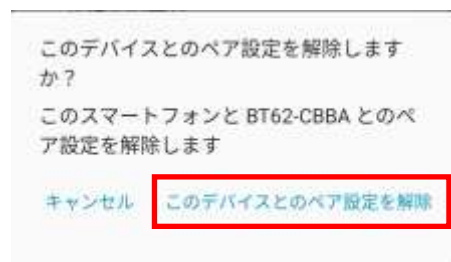


「BT62-xxxx」の右端の⚙️アイコンをタップすると、「デバイスの詳細」が表示されます。



画面中央左側の「削除」をタップします。

「このデバイスとのペア設定を解除しますか？」の確認ダイアログが表示されるので「このデバイスとのペア設定を解除」をタップします。



ペア解除後、「接続済みのデバイス」の画面に戻るの
で、「新しいデバイスとペア設定する」をタップしま
す。

[使用可能なデバイス]の一覧から「BT62-xxxx」を探
します。

「BT62-xxxx」をタップすると
[BT62-xxxx をペアに設定しますか?]&表示される
場合は[ペア設定する]を押すとペアリングが開始され
ます。

ペアリングが設定されると、[接続済みのデバイス]の
リストにデバイス名「BT62-xxxx」が表示されます。
この行をタップすると、デバイスの詳細が表示されま
す。

中央のアイコンは、HID デバイスを表わす十字の形に
なっています。

「入力デバイス」の項目が有効になっていない場合、
右端のスイッチを左から右スライドさせて有効に設
定してください。

以上のペアリングが完了すると、RS-BT62 が Android
端末の入力用 HID デバイスとして機能します。



製品に対するお問い合わせ

RS-BT62 の技術的なご質問やご相談の窓口を用意していますのでご利用ください。

ラトックシステム株式会社

I&L サポートセンター

〒550-0015

大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 8F

TEL 06-7670-5064

FAX 06-7670-5066

<サポート受付時間>

月曜～金曜（祝祭日は除く）AM 10:00 - PM 1:00
PM 2:00 - PM 5:00

また、インターネットのホームページでも受け付けています。

HomePage ➡ <https://www.ratocsystems.com>



個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

🔔 **ご注意** 🔔

- ☑ 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ☑ 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきになられましたらご連絡願います。
- ☑ 本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。
- ☑ 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。

RS-BT62 質問用紙

●下記情報をご記入願います。

法人登録 の方のみ	会社名・学校名			
	所属部署			
ご担当者 名				
E-Mail				
住所	〒			
TEL		FAX		
製品型番		シリアルNo.		
ご購入情 報	販売店名		ご購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカー名と機種名】
【ご利用のOS】
【接続機器】
【お問合せ内容】
【添付資料】

 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

